

1年生 大串貝塚公園で社会科現地学習

7月3日（金）、2、5、6校時に1年生は大串貝塚公園で社会科の現地学習を行いました。今回の学習は、より身近な地域の史跡や文化財等を通して日本の古代について理解を深めることをねらいとして計画されたものです。水戸市埋蔵文化財センター所長の川口 武彦先生、同センター嘱託員の飛田 邦夫先生のご案内で公園内を見学し、古代人の生活について説明をしていただきました。現在の常澄中学校は、古代の貝塚（古代人が貝殻や骨などを捨てたところ）の上に建っています。本校の土台が古代の歴史そのものであるという事実は非常に感慨深いものがあります。当時の学校の周りは、海水と淡水が混ざり合う汽水湖だったそうです。貝塚からの出土物にはシカやイノシシの骨があり、当時はこのような大型の野生動物も生息していたこと、食物に恵まれ多くの古代人が移り住んだことなど、学校を取り巻く古代の歴史について多くのことを知ることができました。現在中学校がある場所は、古代人にとってはリゾート地だったようです。1年生にとって、古き時代への思いを馳せながら、中学校への誇りと愛着を一層強くする有意義な学習となりました。



【中学生のころ（第8回）】

第3学年4組担任 清田 晃平

朝・・・毎朝友達3人が家に寄ってくれ、一緒に登校しました。こう見えて朝が苦手でした。
給食・・・好きな給食は、カレー、肉じゃが、焼きそば、コロッケ、ソフトめん、生姜焼きなどでした。こう見えて食べるのが大好きです。
昼休み・・・本気で汗だくになりながらサッカーをしました。こう見えて負けず嫌いです。
部活・・・サッカー部に所属していました。オフェンス練習、シュート練習、ゲームが大好きでした。こう見えて目立つことが好きでした。

教務部 瀧田 勝之

一番の思い出は、部活動（野球部）である。

当時は、土・日もなく毎日のように練習に励んでいた。その練習の成果が実を結び、市内でも弱小チームが確実に力をつけ、卒業の時は、強豪チームに成長することができた。共にプレーした仲間、活動を支えてくれたクラスメートとの出会いに、今振り返ると感謝の気持ちでいっぱいになる。

目標（勝利）に向かって努力すること。当たり前のことだけれど、そこには人間の喜怒哀楽がある。この時期の経験が現在の自分自身の行動の規範となっているような気がする。

これからも人との出会い・仲間を大切に、生涯にわたる仲間づくりをしていこうと思う。